

別府市新図書館等整備基本計画
第2回策定委員会

①

オープンプラットフォーム会議vol.2
報告

- 延床面積 約1,500㎡
- 蔵書冊数 約10万冊
- 所属：企画総務部

- 30～40代の利用が最も多い
- 登録者数 約1万8千人
- 貸出冊数 約23万冊
- 来館者数 約18万人（670人/日）
- 情報交流館長兼図書館長
（司書有資格）
情報交流館事務局長
- 図書館司書（9人） 計11人
（数値：平成30年度）





コミュニケーションを土台として
情報と人、人と人をつなぐ

共存する・許容する空間づくり

張り紙は極力しない

職員のコミュニケーションで解決

あいさつは必ずこちらから

コミュニケーションを取りやすくし、

話してもよい空間に

BGM 飲食可

デザインや環境づくりで居心地よく

花を飾る 掃除をする

図書館にとって官民連携とは

官と民はもちろん

公、民、個、団体、地域、世界・・・

すべての垣根なく情報でつながる

それが図書館

企画展示

まちで何が起きているか

何が起きたらよいか

何を知ってほしいか

何が解決できるか



地域に飛び出して情報収集・編集
地域の情報と人をつなげる

運営の3本柱 農業支援

①-6



気づいたこと

- 1 来館してもらう
→こちらが出向く
- 2 専門知識 →専門機関と連携
- 3 生産者の農業の考え方は千差万別
- 4 図書館が地域の農業情報を発信できる
- 5 農業について知る機会や、生産者の声を聞く機会がほしい



直売所名人の野菜づくりの裏ワザ DVD上映と解説



紫波マルシェ × 図書館

キッズ店長、キッズカフェ、産直POP作戦

22歳のわたしの答え

図書館は
「まちづくり 人づくりをする場」
です。



まちも 人も オガール (成長する) 図書館



②

別府市図書館の基本方針案

方針案 1. 人と人がつながる

方針案 2. よりどころとなる

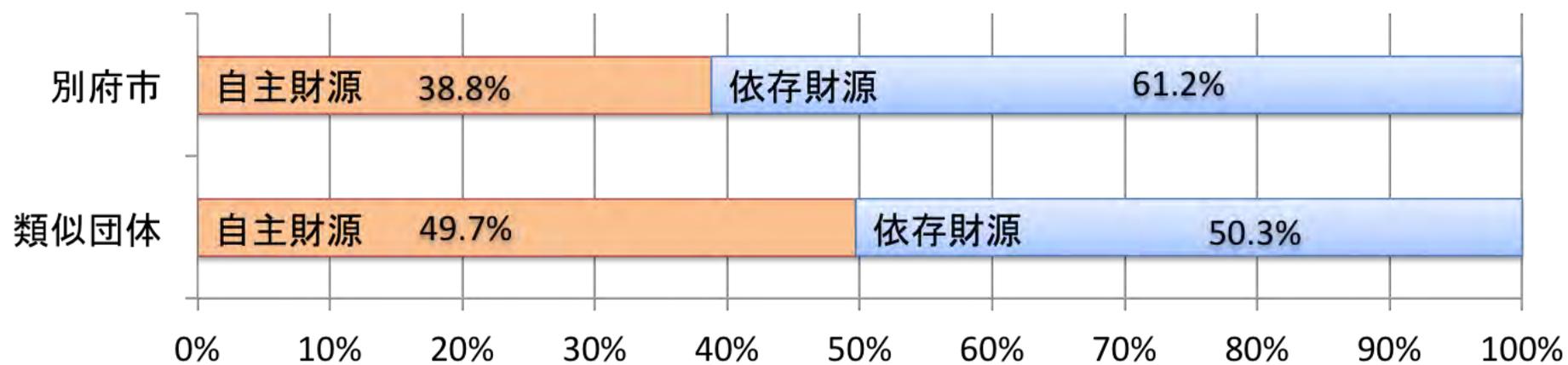
方針案 3. 自分自身を向上させる

方針案 4. 未来をつくる

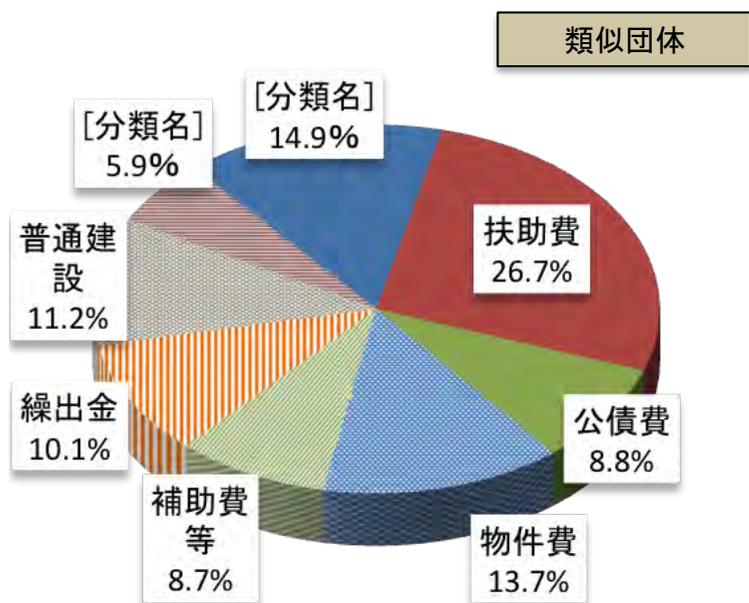
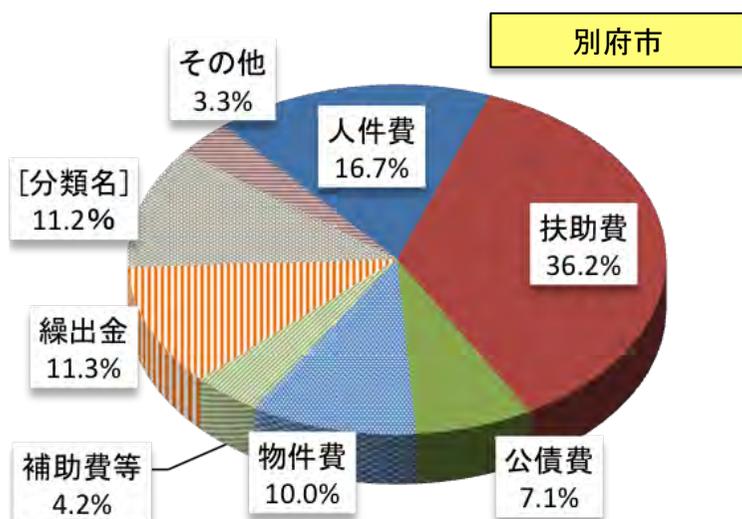
方針案 5. 変化に対応する

③

別府市の地域課題の把握

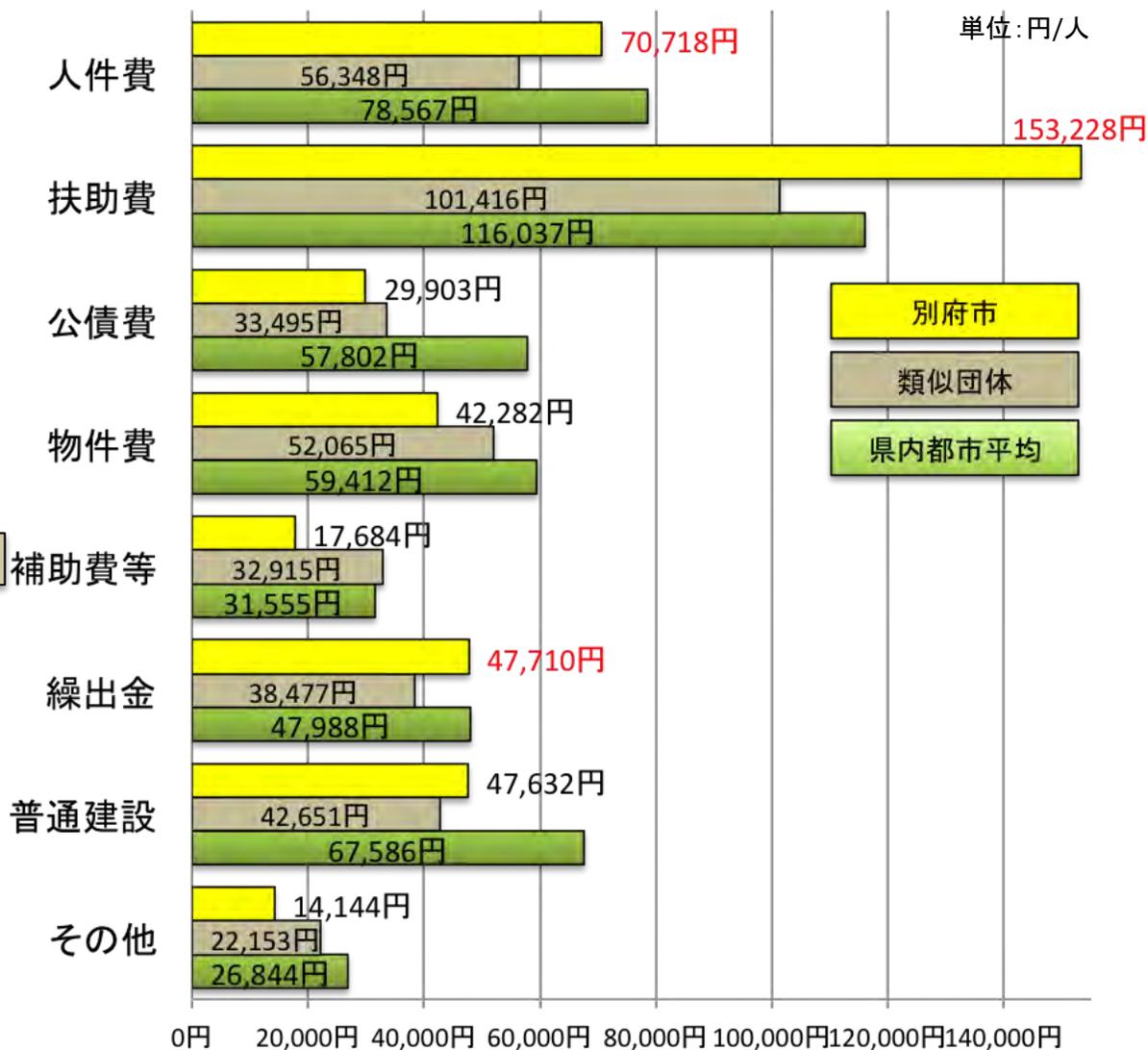


性質別歳出の構造 (H29決算)



市民一人あたり性質別歳出 (H29決算)

③-2



別府市の事業者数

企業数：4,338社

③-3



別府市の産業売上高

売上高：407,589百万円

③-4



別府市の産業従業者数

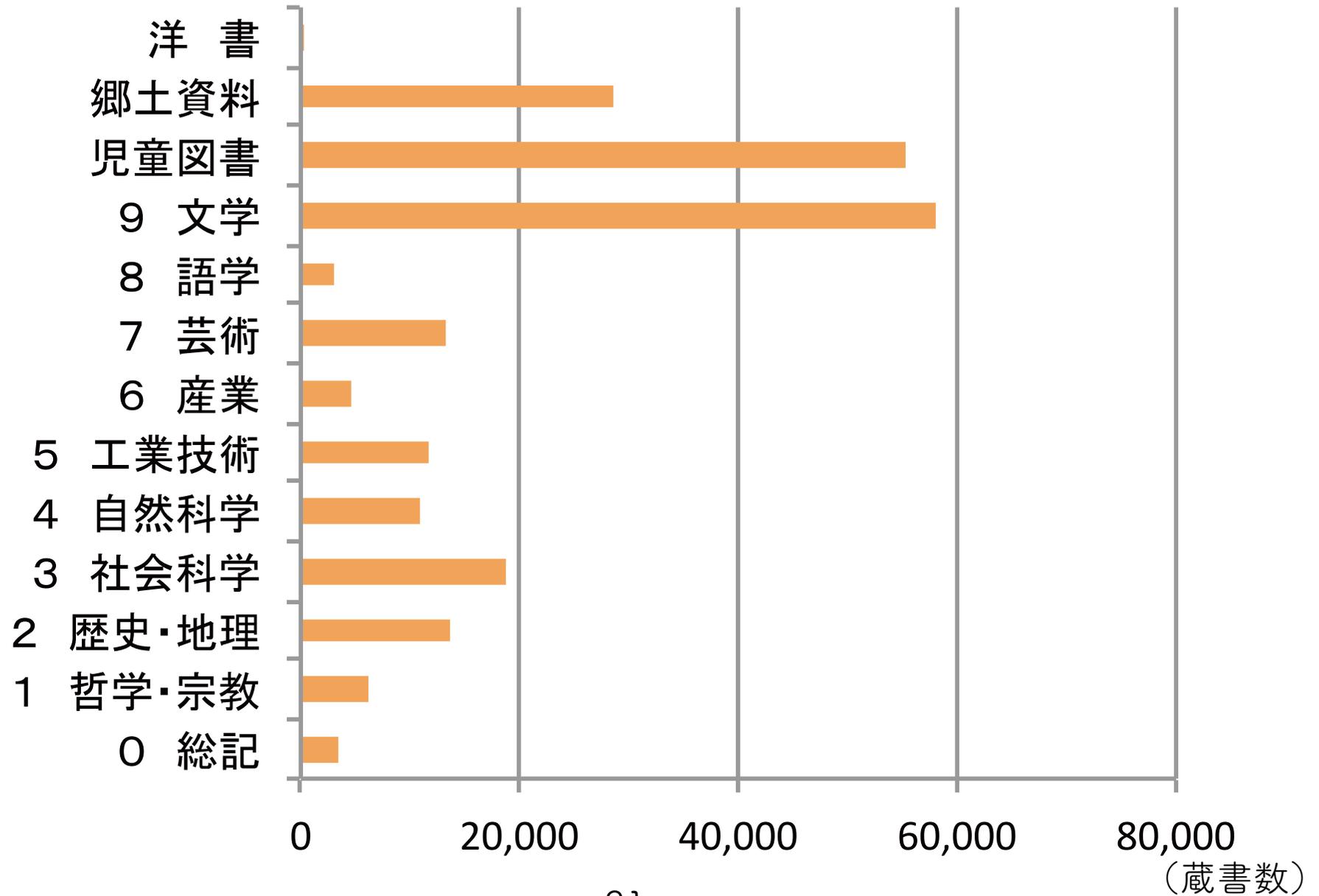
従業者数：38,128人（2016年）

③-5



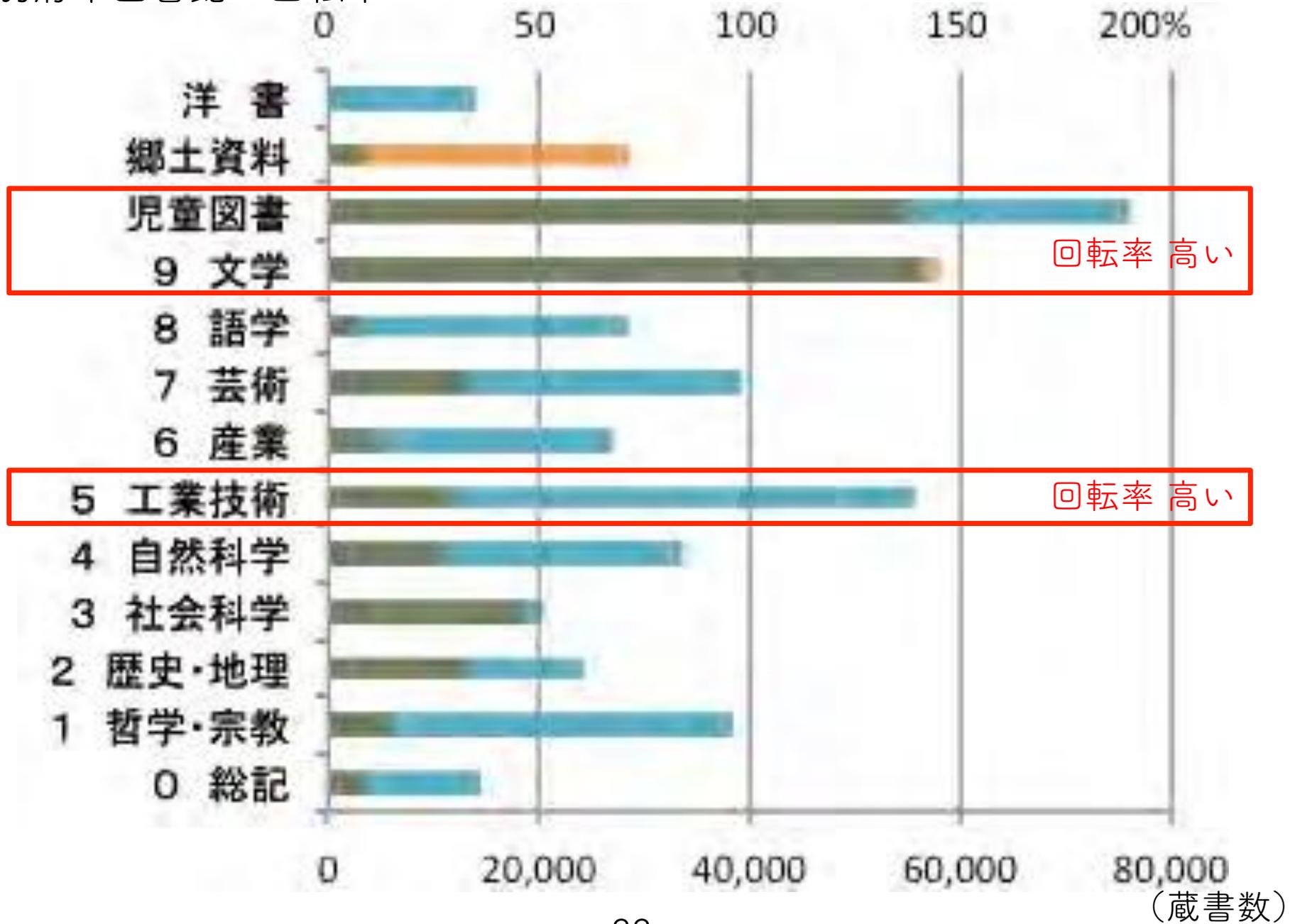
別府市図書館 蔵書構成

蔵書数 228,315冊 (H31) ③-6



別府市図書館 回転率

(回転率) ③-7



④

新図書館等の機能とサービスについて

- どんな図書館サービスが必要か？
- 公園に建つ図書館のあり方とは？
- 図書館に必要な機能とは？
- 別府らしい蔵書構成とは？？
- 図書館の全域サービスの考え方は？
- どのような運営体制であるべきか？

Q1.

どんな図書館サービスが必要か？

Q2.

公園に建つ図書館のあり方とは？



別府公園に隣接する敷地



公園の中にある図書館とは？



本に囲われた図書館？



公園とつながる図書館？

Q3.

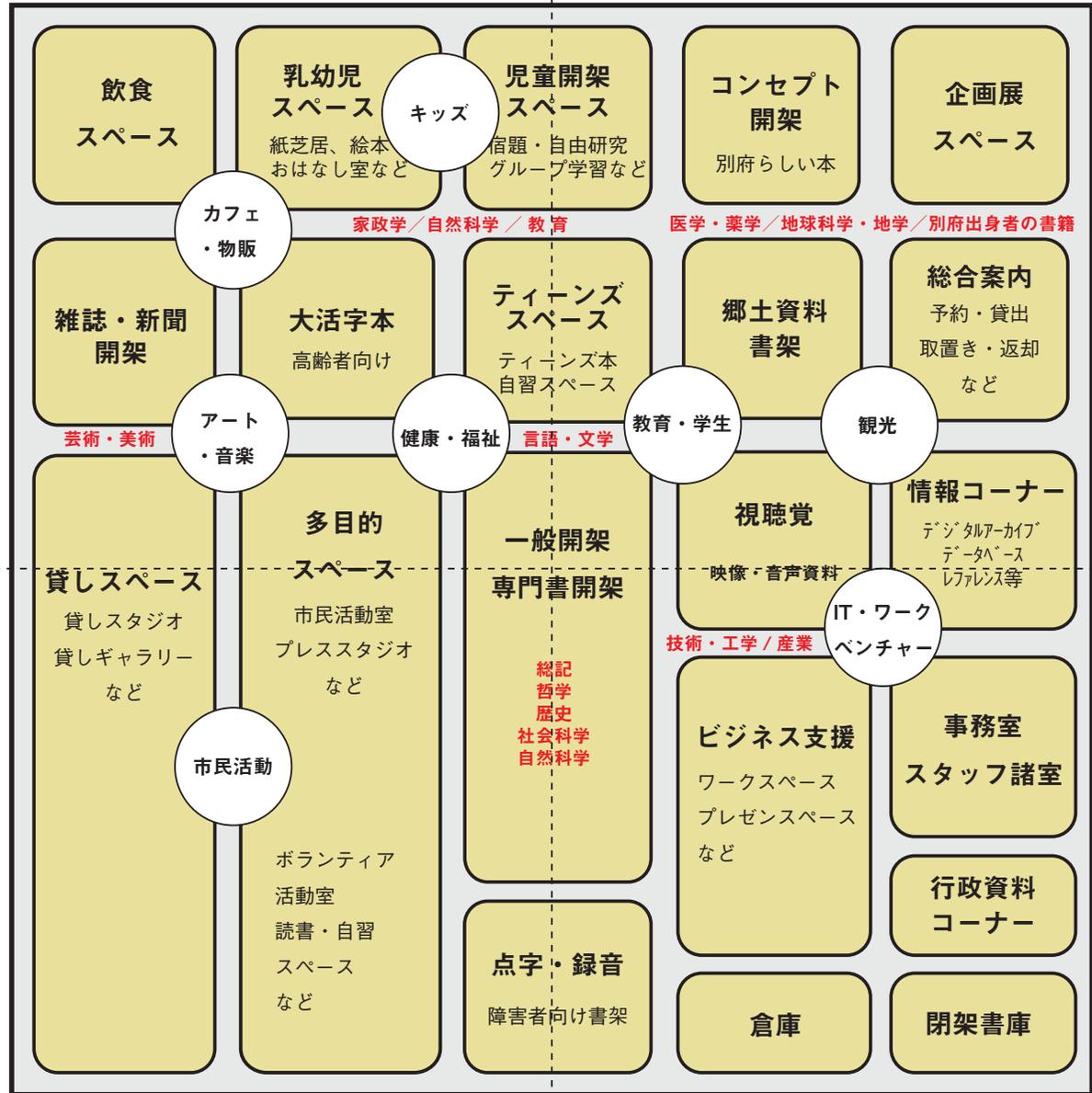
図書館に必要な機能とは？

図書館機能ダイアグラム案

オープンな空間

集団・交流的な活動

個人的な活動



クローズな空間

凡例

- : 図書館機能
- : 民間連携想定機能
- 赤字: 十進法による蔵書想定
- 枠の大きさ≠部屋の大きさ

Q4.

別府市らしい蔵書構成とは？



勝沼図書館

平成8年11月に開館。地域の特徴を生かした『ぶどう』『ワイン』の資料、雑誌や新聞、パンフレット等、約3万点を収集し、一角にコーナーを設けている



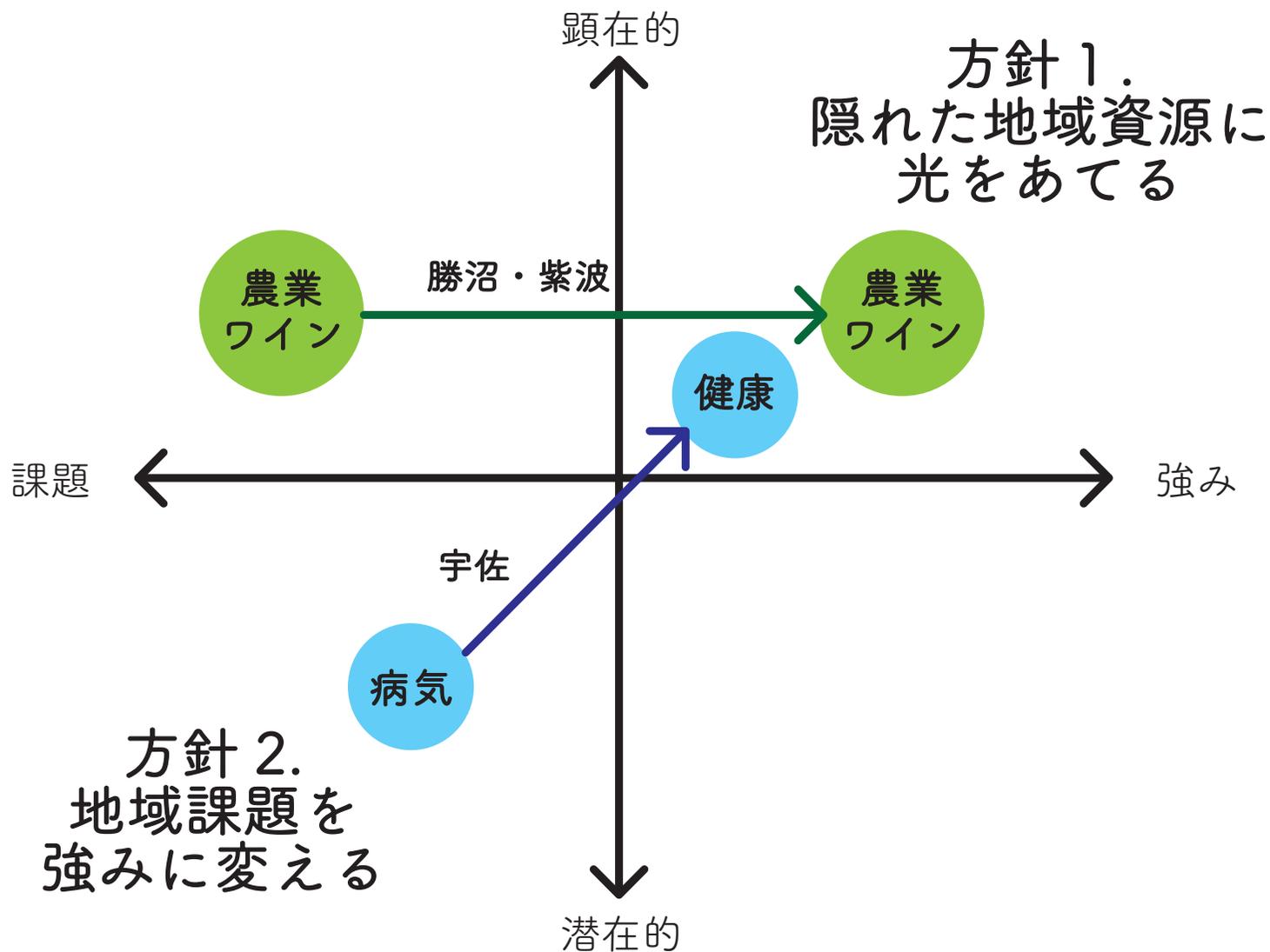
紫波町図書館

農業関連書籍



宇佐市民図書館

医学・薬学関連書籍



Q5.

図書館の全域サービスの考え方は？

< 全域サービスの例 >

1. 社会教育内でできるサービス

- ・ 学校連携
- ・ 移動図書館（現在は32箇所／月1回）
- ・ サテライト図書館（分館、公共施設への配本）

2. 他部署との連携でできるサービス

- ・ 幼児読書推進（ブックスタート）
- ・ 医療、介護施設への団体貸出
- ・ ビジネス支援（Ex.紫波町の農業支援）

Q6.

どのような運営体制であるべきか？